



光が丘

大津市立晴嵐小学校 学校だより5月号
在籍児童 815名 令和8年5月1日

学校教育目標 求めて学ぶ子 ～ふるさと晴嵐に愛着と誇りを～

風薫る 5月 「自分の気持ちを言葉で表す」

美しく咲いていた桜が葉桜と姿を変え、今はツツジが色鮮やかに咲き誇り、目と心をやさしく癒やしてくれています。風薫る5月、さわやかな季節になりました。

朝、正門に立っていると、1週目には入り口（昇降口が学年で分かれています）を間違えて引き返してくる児童が数名いました。しかし、最近は間違える姿を見かけなくなりました。子どもたちも、新しい環境に慣れてきたように思います。ま



た、保護者の皆様には、先週から始まりました個別懇談会に足を運んでいただき、ありがとうございました。中には大雨の中をご来校いただいた保護者の方もいらっしゃいました。ご多用の中、時間を作っていただき、ありがとうございました。短時間でしたが、お子様の話題を共有していただけましたでしょうか。家庭と地域と学校とで一緒に、愛情をもって子どもたちを育てていきたいと思えます。今後とも、よろしく願いいたします。

さて、日頃から「自分の気持ちを言葉で伝えること」を大事にしたいと考えています。子どもたちの様子を見て、「言葉で伝えられていれば・・・」と思う場面がよくあるからです。ある日、教室で嫌なことがあって職員室に来た児童がいました。少し怒った表情をしていたので、何も話してくれないかもしれないと思いながら「何が、嫌でしたか？」と聞くと、自分が嫌な気持ちになった状況をととてもわかりやすく話してくれました。話し終わった後は、表情が和らいだように感じました。嫌な気持ちをためずに表出することで、気持ちがすっきりすることがあります。だから、気持ちを言葉で表してほしいと考えます。そして、気持ちを正しく伝えるためには、言葉を使うことが必要だとも考えるからです。子どもたちが自分の気持ちを言葉で伝えようとしたときには、まわりにいる私たち大人は、子どもたちの声を真剣に聴くことを大事にしたいです。晴嵐小学校には、「思考が深まる対話」について考え、実践する「らんらんトーク」という時間があり、数年間積み重ねてきています。その成果が、先ほどの児童のように、日常に表れていると感じる場面がたくさんあります。本年度も継続して取り組みます。自分の気持ちを言葉で伝えることが得意な人、人の話をしっかりと聴くことができる人に成長してほしいと思えます。

5月は、校外学習、体カテスト等の行事が続きます。気温も上がってきそうですが、季節の変化に対応しながら元気に過ごしていきたいと思えます。今月もよろしく願いいたします。

(文責 齋藤 昌代)

